

## 1 自由意見について

全対象者のアンケートに「学校選択制」についての自由意見欄を設けました。学校選択制に関する多数の意見が寄せられている中で、代表的な意見を抜粋して掲載しています。

原則として、原文のまま掲載していますが、個人名等プライバシーに関する記述等については省略しています。

## 2 中学校2年生 生徒・保護者からの自由意見

### (1) 学校選択制を利用した生徒

#### 【肯定的な意見】

選択制は続けるべきだと思います
通学区域の中学には水泳部がなかったため、選択制度を利用して水泳部のある●●中に入学しました。現在、中学2年で部活動中心の充実した学校生活を送っております。
学校選択制があったおかげで、のびのびと自分を出しながら充実した学校生活を送ることができていると思います。利用できてよかったです。
学校選択制とても良いと思います。部活で選ぶ、友人で選ぶ、家庭の事情で選ぶなどそれぞれ理由は違うと思うので、今後も続けてほしいと思います。
自分の進路について子供が親の価値観ではなく自分で選択出来る機会がある方が自分（子供自身）の責任で選択出来るすばらしいチャンスだと思う。子供自身で決めたのなら自分の選択に責任を持つ事が出来る。
選択できる機会があって良かったと思っています。子供にとっては小学校からの友達と進学ができて、伸び伸びと学校生活を過ごせています。学校区のみでの進学だと新しい友人関係が上手く築けられなかったか…不安だったと思います。
とても良い事だと思います。中学校がそれぞれ特色を持つと選ぶ意味があると思います。学校側も努力し、魅力的な学校になるよう切磋琢磨すべきだと思います。
本人の目的によって、選択肢があった方が充実した楽しい学校生活が送れると思います。
選択制はあった方が良い 理由 1 学校ごとに異なる歴史・文化・特色があるから 2 交通機関を利用することで、社会性が身につくから 3 行きたい「人気の学校」があるとすれば、その学校は評価すべきことがある可能性もあるから ※先生方の努力など
私自身、塾の講師をしているので、調布市のどの学校がどのような授業を行っているかよくわかっている。よい授業内容・教育をしている学校に自分の子どもも通わせたいので、学校選択制は正しいと思っています。私の子どもはすぐ隣にある中学校ではなく、わざわざ電車で通って他の中学校に通っています。近いから良いのではなく、その学校の教育と授業内容が一番大事なのです。
いじめの問題等で違う学校を希望している場合等、中学が選べることによって、楽しい中学校生活を送れるのは良いと思います。
兄弟で選択制を利用する人もたくさんいると思います。兄弟が通っている又は通っていた中学校には優先的に入れるようにしてもらいたいです。（制服やジャージ等も新しく買わなくて済みます）学校選択制はこれからも続けてもらいたいです。この制度で親子共々助かりました。
小学校の時に、いじめられていたり仲間はすれにされたり、苦しんでいた子は中学校が選べた方が救われると思います。
やりたい部活が指定校になかった場合、学校を選べたら子どもも全力で部活動に励むことができると思う。
小学校の先生からは、指定校を勧められたが、子どもを取り巻く人間関係や何よりも意見を聞いてあげられて結果的に希望校に入れてよかった。1学年の時は萎縮してしまうこともあったようだが、今は伸び伸びと過ごしている。学校の先生やクラスの仲間に感謝しています。
子供が行きたい所へ進学するのが一番良いと思います。

## 【その他の意見】

P T A に関しては、学校の為に力になれる事はできる範囲でしていけたらと思いますが、学校地域にまで関わる事には抵抗があり気がすまない。

学年によって生徒数に極端な差がでること、噂が元で人が動くこと等不安があります。

## (2) 学校選択制を利用していない生徒

### 【肯定的な意見】

同じ中学に通いたくないお子さんがいる場合や通学距離・部活動の様子などで、選択できることは大変よいことだと思います。このような理由で助かっているお子さんは多いのではないのでしょうか。

中学校は指定校以外、考えもしませんでした。現在同じクラスにお互いを高め合えるお友達がいる。そのお友達は学校選択制を利用しているので、この制度のおかげだなとありがたく感じています。

選択できることは、子どもにとって良いことだと思います。公立校で難しいことはあると思いますが、各学校の個性・特色をはっきりさせるとより選択する意味が前向きになると思います。「学区の中学は〇〇だからいや」ではなく、「△△のある学校に行きたい」となるのがよい。

友人関係がうまくいってない場合など選択制があると、再スタートができるので良いと思います。

部活動など、やりたい事があって、その機会を「学校選択制」で得られるのなら良いことではないかと思います。

小学校の時、友達とのトラブルなどで学校に行きづらい子供がいた場合、中学校を選択できるのは良いのではないかと思う。

「学校選択制」を利用しようと思う時期がありました。小5の頃に少し友達関係で悩んでいることもあったので、指定校以外の調布市内の学校を選べるという制度は、精神的にも楽でした。いくつかの学校の説明会や行事をみたりして結局は指定校の学校に決めました。親としては通学時間が短くて指定校で良かったと思いますが、近所の子で指定校以外を選択して少し遠くても楽しく通っている子もいるので、選択制は続けてほしいと思います。

画一的に通学区域で区切られるより何かの理由で他の学校へ行きたい人の選択肢は残してほしい。(基本的には指定校があってよいが) 特例や許可制ではなく誰にでもある選択肢としてある方がよい。

転居に伴い、中2から転入しました。調布市の「学校選択制」についてはこのアンケートで初めて知りました。例えば、どうしてもやりたい部活がある中学校を選べるということは、子どもにとっては充実した学校生活につながり、良いことだと思います。

中学校によって、部活動の内容にかなりばらつきがあり、入学したものの希望していた部活がない事があるので、学校選択制はあったほうが良いと思う。

「中学生までは、地域の公立学校に通う義務がある」と考えているため、受験や地域外の学校に通うという選択はなかったが、いじめといった本人の事情や離婚などの家庭の事情から心機一転という人生の選択肢もあり得ると思うので、学校選択制は必要だと考える。

仲の良い友達が周りにいてくれた方が、もし何かあった時、相談に乗ってもらえる。そういう点では選択制はいいかと思います。

今後も選択制は続けてほしい。

たった3年されど3年。部活に重きを置くか、勉強に重きを置くか。それもあまり関係なく決められた学校に行くか、公立であっても、その3択はあって良いと思います。

子どもの仲のよい友達が周りにいてくれた方が、何かあったときに相談にのってくれる。その点では、選択制はありがたいです。中学生は親より友達のほうが相談しやすいだろうし。

小学校時代に嫌な思いをしても、中学校を選択できることで気持ちを新たにスタートできるように思います。学校選択制は、例えば、野球が上手い子が野球の強い学校へ行く自由というよりは、学区内の指定校に何らかの理由でいけない子が安心して中学校生活を送れる可能性を選ぶ自由というような気が私はします。

子ども達の中にはあえて進学を機にガラリと環境を変えたい子もいると思いますし、どうしてもやりたい部活動が学区域にない場合もあるかと思しますので、子ども達の可能性を広げる意味でとても良い制度だと思います。

自分に合った学校が選択できるのはとても良いと思う。

児童生徒それぞれ、色々な問題を抱えて中学校に進学しようとしている場合が多くなっていると思うので、選択の幅が広がるので、この制度は、よいと思います。

子どもが小学校の時に、友人関係などで問題があったなら、中学校は違う地域で新しい友人関係を作りたいなどの理由で学校選択ができることは、いいことだと思います。ただ、枠が空いていたら自由に入学できるようになっているのなら、生徒数のバランスが悪くなり、学校行事などの規模に影響が出てしまう気がする。

## 【学校選択制の情報発信に関する意見】

せっかく選択制を導入しているならばその学校の特長・比較を現5・6年に配付していただきたかった。
学校選択制という制度自体は良い制度だと思うが、学校ごとの特色、差異に関する情報がほとんどないため、制度を利用すべきかどうかの判断が難しかった。
他地域より入学直前に転入してきたのでこの制度を利用することはありませんでしたが、部活動の状況などを加味して中学校を選べるのは良いと思います。その為に各中学校のホームページをもう少し充実させて頂けると考えやすくなると思います。
学校選択制の認知度が低く、利用方法もあまり知らされていません。もっと幅広くオープンにして欲しかった。
部活動の活動時間・曜日・他の学校との比較情報があればよかった。
希望が通る場合とそうでない時があると聞くので、早めにわかると制服等の手配に慌てずに済むと思います。
転入の場合でも指定校以外の希望を受けてほしい。部活を続けられるかどうかの子供にとってとても重要でした。
各学校の部活動の活動状況が、もっと具体的に（週何日、活動しているか。休日は何日、また何曜日か。活動時間、また人数など）ホームページなどで確認できると比較検討しやすいと思う。身近に聞ける人がいなかったため、困りました。 また、調布市の部活動の最終下校時間は遅すぎると思う。（最終下校が遅いと通学時間の事を考えて選択制を選べない（あきらめる）こともあると思います。）日が短い10月～3月は5：00～5：30位、日が長い4月～9月は6：00位で良いのではないのでしょうか？日が短い間は5：00過ぎると真っ暗で、帰りがいつも不安です。また6：30下校の時は帰宅すると7：00で疲れきっており、勉強との両立が難しいです。塾との兼ね合いも難しいです。（夕食を食べる時間がない。）今、中学校の先生方の部活動負担が言われていますが、活動時間が長い。または、休日が少ないと先生はもちろんですが、生徒にも大変負担です。朝練の禁止、活動時間の制限などを設けて先生も生徒ももう少し余裕を持った生活が出来るようにするべきではないのでしょうか。
入りたい部活動や通学時間などを含み選択制には賛成します。入学前に各学校の卒業生の進学状況の情報も参考にできると良いと思います。
他県から入学式前に転入してきました。事前に学校の口コミなどをみて住居も決めましたが、うちのように締め切りを過ぎてからの転入者にもこの「学校選択制」を利用できると良いと思います。
現状に満足しているので、特にありません。もし可能であれば、部活動の体験が事前にできたらより入学後のイメージがわきやすいかと思います。
兄弟関係や知人からの情報が得られない場合、中学校の特色や子どもに最適かどうかなどの判断がしにくい。学区内の中学校以外との交流も、小学校にいる間にあると良かったと思います。

## 【通学に関する意見】

自転車の登校が可能になれば、選択肢が広がると思います。
学校が選択できる機会はあった方が良いと思います。ただ、徒歩でしか通学できないので、事情がある場合等以外は、通学に時間がかかることを覚悟しないと選択はしないと思う。

## 【学校間格差に関する意見】

良いことも沢山あると思いますが、人数の差がありすぎる。
通学路や自宅からの距離で学校選択制をせざるを得ない事は理解できますが、公立中学校であるのだから設備や施設、部活動に優劣、差があるべきではなく、どの学校を選んでも公平な環境となるよう、行政の努力が必要であると思います。
公立なので、あまり差があるのは良くないと思います。引越などでもそのまま通っている中学にいたいとかの理由は受け付けても良いとは思いますが、中学生なので、市内のここの中学に行きたいと思っても、通える範囲は限られると思います。
どの中学校も同じレベルの教育を受けさせて欲しい。人数が多いので、良い評価がなかなかもらえない。
義務教育としては、どこの学校でも等しいレベルの教育が受けられれば良いと考えます。人気校ばかり生徒が集まると生徒数の少ない学校の教育との格差が大きくなると思われまますので、公平な教育環境としていただくようお願いします。
どの地域の学校もそれぞれ頑張る必要があると思います。公立の学校なので、なるべく近くで安全に差のない必要な教育を平等に受けることができるよう、選ばなくても大丈夫な状態に持っていくことの方が大事だと思います。

## 【地域や学校との連携に関する意見】

基本的には、地域の子どもたちを地域が育むということを大切にしたいので、学区制で良いと思います。ただし、人間関係の事情等、特別な場合には、柔軟な対応ができることは必要だと思います。

義務教育の間に、学校を選択する必要はないと思う。地域の中で学べばよい。それで十分だと思う。

特別な理由がある場合は例外として、学区域境の地域に住むと、子ども達の学校が別々になってしまうので、安全面や地域性が薄れてしまうのではないか。

## 【その他の意見】

基本的には学区がよいと思います。指定校がよくないからという理由で、学区外を選ぶのは残念かなと感じます。

生徒数の関係で、これから学区が変更になるかもという噂があります。下の子も兄姉と同じ学校に行きたいという希望があり、また、新しい学校の制服を買いなおすのも家計の負担になるので、学区変更の際は兄弟関係を優先して選択させてほしいです

長男は特に疑問も持たず、指定校に行きましたが、下の子(娘)は中学校の制服のことで悩んでいます。伝統との意見もあるでしょうが、せめてリボンをつけかえる等、少しでも工夫していただければと思います。(●●中・▲▲中)親としては近いので、指定校に行かせたいと思っています

学校選択制の利点がある事はわかりますが、私にはあまり良い方法とは思えません。中学2年生は下の子になり、上の子の時はこんなにも中学校で差がある事を知りませんでした。今の●●中に不満はないのですが上の子ではもっと考えて選択すれば良かったと3年間思わざるを得ませんでした。全員が区域の学校であればそこまで思わなかった様に思います。現在は満足して居り先生方にも感謝して居ります。

### 3 小学校5年生 児童・保護者からの自由意見

#### 【肯定的な意見】

選択の機会がある事は良い事だと思います。
友達関係、学校に対して子供が不安である時に市に中学校の変更の相談するのではなく、市に学校選択制がある方が親や子供も助かります。自分達以外にこの制度を利用する人がいると思うだけで楽になれるかもしれません。
部活動の状況で選択できることは良いと思う。
小学校から持ち上がりでほとんどの子が同じ中学に行くというのは友人関係やいじめなどもつづくことになり、変化もなくつまらないので選択のチャンスが絶対あった方が良い。
子供によって学校の規模の大きい学校に合わない子供がいると思うので選択できる事は良いと思います。規模が大きいと先生が生徒をみる範囲が限られてしまう気がするので、子供も親も安心出来る気がします。
小学校でいじめにあうなどで、環境を変えたいと思っている御家庭にとっては、学区外の学校も選択肢にあると救われると思う。利用したい人が自由に利用できることは良い事だと思う。
自分の子供に關しては、地域の中学校で何も問題はないのですが、部活動の面で、居住地指定ではない中学校でしか、入れない部がある場合、選択できると子供自身も良いのではないのでしょうか。
選択できることはとても良い。小学校4年で引っ越しをしたが、小学校は転校しなかったため、このまま小学校の友達が多く進学する中学校へ入学したいと考えている。
私立ではないので、特色もあまりなく、普通に学区の中学でいいと思っています。これから大きくなっていくにつれ、友達関係も結びつきも強くなっていくが、親の目が届かない範囲が増えてくると思う。そのような時に小さい頃から顔なじみの親達がいると情報も共有でき安心できる。高校になれば受験は必須なので中学までは今の環境でよい。(我が家は)ただ、周囲の子となじめない等の子の為に今の制度は必要だと思っている。
選択制は他地域にあまりなく、中学校生活における本人の主となる目標にそって選べるという事で納得した学校生活を送れる様な気がする。親としては、本人の意向に合う学校にお任せする点においては安心かつ期待できるものではあるが、通学面では多少不安がある。その面で実際通う学校を決定した際は、自分なりに調査が必要だと考えている。
選択制を導入する以上、条件なく選択できる現制度は望ましい状態であると思います。学校選択制よりも1クラスあたりの生徒数を少なくする方向で法律が変わるといいなと思います。
中学校を選択できる機会があることは、とても良いと思います。いろいろな中学校の特色を知りたいという興味も出てきます。
選択できる機会(チャンス)は、あった方が良く考える。地域との関係が希薄になる程、大多数の生徒が地域外の学校へ通うとは思えないし、生徒の通学上の安全確保に不安があるのは、市の取り組むべき「子どもの通学を安全なものとする道路・歩道づくり」であり、今回の選択できる機会と直接関係する内容ではない。安全対策はやらなければならない事と考える。学校の規模(人気)や学校の格差(レベル等)が生じないようにするのは、学校教育委員会や各学校長の責務ではないかと考えるため。たまたま、友人・知人関係に恵まれない子どもが、学校選択のチャンスがあって、生き生きと中学校に通えるのなら、チャンスはあった方が良く。
不登校児減らす為にも、子どもが選択できるのはとても良いと思います。
子ども達にも学校が選択できる権利があれば、その子に合った学校での教育方針、いじめの予防になるので良いと思います。
現在、中学2年生の兄が学校選択制を利用して●●中へ通学しております。選択制を利用した理由は、居住地指定の中学には水泳部がなかったからです。今は●●中の水泳部に入部して充実した毎日を送っています。選択できる機会をありがとうございました。

#### 【学校選択制の情報発信に関する意見】

あまりに情報が少なく、噂ばかりが先行しているイメージ。選択制の目的・意義・これまでの実績や振り返りをきちんと説明いただきたい。
5・6年生のうちに行きたい学校の見学を親子でさせてほしいです。
これから下の兄弟が進学するにあたり、親ではなく子供がこの制度を知り、各中学校の特色を知ることができる冊子のようなものがあれば良いと思う。(あるいは各小学校で説明会)親の勧めではなく自ら選択したいという子供からの希望があってから親が相談に乗るのが本来の姿だと思う。
選択制で実際に行った人の意見を聞いたら。市立で選択するほど学校によって違いはあるのでしょうか。何が違うのか、選択するメリットが知りたい。
選択できることは良い事。だけど、子供達は制度も知らない。子供達に選択権がある事を小学5年生ぐらいから教えてあげて欲しい。親の情報収集力・経済力で差が出る事は減らした方が良く。
授業や部活の見学の機会を増やしてほしい。 部活は活動日、親の協力など詳しく知りたい。 特性のある子、不登校の子などに対する対策、学校の方針を知りたい。 進学状況、進学指導について細かく知りたい。
両親とも地方出身者で中学校や高校(私立、公立共に)の情報がほとんど入ってきません。せめて通学している小学校の卒業後の進路状況や調布市内の中学校の情報、見学会、高校への進路状況など、小学4～5年時に積極的に公開してもらえば、選択肢が増えていいのではと思います。現時点では①ネットで調べる。(情報が不確実なおそれがある)②塾に入れて情報を得る(経済的負担が大きい)③小学校の知り合いに聞く(同じ幼稚園出身の親御さんがほとんどおらず、フルタイムの共働き家庭も多いので、進路の相談ができるような知り合いがいらない)という状況で、結局近くの中学校に進学するしかないかなと思っています。

小学校に中学校から説明会を開いて欲しい。中学校で行う説明会だと全ての中学校を回る事が難しいので。担当者の方などが来校して頂き、小学校で一校ずつの説明を受ける事が出来ればもっと各中学校の特色が理解できると思う。
選べるのは良い事だと思う。●●中の見学の機会が6年の夏までに終わってしまっていて行けなくて残念だった経験がある。
各学校のHP等を見ても情報が少ないと感じます。
中学校の選択の材料にもなるので中学校の連合音楽会などの行事を6年生も鑑賞できると、とても参考になると思います。
このような制度があることはあまり知らなかった。学校を選ぶにあたり、各学校の特色がわかる資料など詳しいものを早い時期に配布してもらえたら考えることができるので良いと思う。
学校選択制については、友人の話から初めて知る事ができました。もう少し広く知らせる機会があると良いと思いました。また、実績等（どの中学校へ居住地指定外から何名入学したか？）も広く知らせて頂きたいです。
現在、中1の子供が利用し、学区外に行っています。抽選だったと聞いたのですが、どのくらい応募がありどのように抽選があったかなどを教えてください。
小学4年生頃、早い段階で詳しい情報や、資料など簡単にみる事が出来る環境にして頂けると嬉しいです。未確認の情報ばかりで進路を決める段階にないのが現状です。
学校選択制は良いと思いますが、各学校の情報がほとんど入ってこないのが残念です。市内中学校の年間行事予定表のようなものを5年にも配布する等があると嬉しいです。
「子ども向けの中学校案内」があるのが良いと思います。自分達で調べて考えて選べるのが良いと思います。
小学5・6年生と保護者が見学できるような行事があると中学校の様子がよくわかると思うので、やっていただきたいと思います。（現状では、中学に通わせている保護者から口コミ情報を聞くくらいしかないので）

## 【通学に関する意見】

学校選択制は、良い制度だと思う。実際には部活動・授業内容の他に、自転車が使えないとすると、交通の利便性が重要なポイントになってしまうと思うので、希望できる学校は限られてしまうと思う。
自転車通学を可能にしてほしい。（ヘルメットの着用義務、雨の日レインコートの着用義務などをすれば）
やりたい部活が盛んな学校にひかれるが、遠くなるのでわざわざ選択するには躊躇します。
●●小学校の学区は、市内公立中学校までの距離が遠い地域があります。自転車通学も認められず、重い荷物を持っての長距離通学を強要される事は問題だと思います。日が短い季節の帰宅も心配です。通学バスを運行するなど、早急な改善をお願いできればと思います。現在、安心して通わせられる中学校がありません。
指定されていない学校というのは色々な面で選択して行かせたいと思っても、通学距離が遠くなる為、自転車登校許可や公共交通機関への補助がないと、現実的ではない気がします。

## 【学校間格差に関する意見】

人気ある学校に人が集まってしまうので公立とはいえ施設やオシャレな制服（●●中が評判よい）魅力ある修学旅行先など、どの学校もまんべんなく力を入れてほしいです。
学校の生徒数のかたよりのないのが望ましい。選択制により生徒数が減る中学校が出て、その中学校の質の低下にならないかが心配。
それぞれのご家庭、お子様に合った学校へ通える事は、とても良いと思いますが、学校により生徒数（規模）に偏りが出てしまうと、格差は否めないと思います。その対策がなされれば子供達がとても良い成長のチャンスに出会える可能性があるため期待しています。
必要性を感じない。どの学校も同じようにする事ができれば選ぶ必要もないと思います。施設等の関係で部活動が各学校で違うのは仕方ないので選択制が必要となるのはそこだけになると思います。私立とは違うので学校によって教育目標や方針が違ってくるのが問題なのではないでしょうか。選ぶ必要のない学校づくりをしてほしいと思います。
「学校選択制」というより、どの中学校も同じようなレベルの教育を指導できるようにして欲しい。学校格差が激しすぎると思う。
学区内の中学校で入部したい部活がない場合、学校選択制を利用できるのはいいと思う。ただし、人気の中学とそうでない中学が出てしまい、学力の差や規模・設備などに大きな差が出ないように、調布市内のどの中学に通っても安心できる環境であることが望ましいと思います。

## 【地域や学校との連携に関する意見】

地域のつながりを壊さないためにも、地域の学校へ行くべきだと思う。
子どもが居住地の中学校に進学しないと保護者が地域との接点をもたなくなる。一度学校間の格差（学級数等）ができると、部活動の数（教員数）にも影響し、学校内の努力ではとりかえせなくなり、格差は拡大する。子どもは地域の学校に通うべきと考えます。

## 【その他の意見】

意見はあると思いますが、何より本人の意思を尊重したい。
学級崩壊・先生の質の低下が世の中を騒がすようになり大変危惧しております。落ち着いて穏やかに学校生活を過ごせる事が重要であり、先生を尊敬できる環境を希望しております。 選択する自由は守られるべきであり、また学校側も努力すべきと考えます。学力偏差値や高校進学実績などを公表し、学校の特色をもっと示すべきです。部活よりなのか、学力重視なのか、文武両道なのか知りたいです。公表されておらず、また質問に何とも希望する回答が得られず、今のところ公立は考えられない。
何事もメリット・デメリットはあると思いますので、色々と変えていってもいいのかなと思います。まずは楽しく学校へ行ってくれば安心です。
選択制に賛成しておりますが、現在学区域の中学に在籍しております子供のクラス編成を見ますと居住外の生徒さんはとても少なく、入学時は友達づくりが大変そうでした。そのあたりのサポートを少しでも体制が整うといいなと思いました。受け入れの枠を増やすことも検討してほしいと思います。
人気の学校は定員数をもう少し増やしてほしいと思います。
公平と透明性はあっても良いが、兄弟の考慮がないのは困るのではないのでしょうか。
調布駅近くにも中学校があると良い。いずれの学区も遠く、しかたなく私立や他の公立を選ぶ人も多いと聞く。大きな工場の跡地や敷地を是非中学校に。●●小を中学校化するか。
息子はサッカーをしているので、部活ではなくクラブチームで中学ではサッカーをさせたいと考えていますが、他の運動だと部活は大切だと思っています。学校選択制とはいえ、特別な理由は必要なのだろうと思っていたのですが、フラットに選べるのであればあと1年ほどでしっかり情報を調べ、親子で考えたいです。
「個別の事情を考えない公開抽選」とありますが、ぼくは三つ子です。兄弟の一人が支援級のある中学に行くので、学区域の学校ではなく、ぼくたちも同じところに行きたいと考えています。でも抽選になる事もあると知り、ぼくだけいけなかったら、またはぼくだけ行けてもう一人が行けないなど、三人一緒に行けなかったらと思うと不安で不安でたまりません。
●●小は児童数が少ない。◆◆中は生徒数も多く、そのギャップがあるので、▲▲中にも考えましたが、本人の意思で決めたいと思う。どこの学校に行っても子どもの事を考えてくれる教師がいて欲しい。
大変快く受け入れました。小学校からの流れでいくと通学距離が結構あるのでこれから考えたいと思います。
公立は先生がすぐに変わってしまうので、特色が出にくいから、わざわざ遠い学校へ行くメリットを感じない。
子どもが友達と一緒にいいからと調布市立の中学を選んだ時にそこに入れなくなると選んだ意味がなくなる（私立をやめた場合）
同じ市内でも部活の内容が違うので、どの中学も運動部・文化部が均等にあれば選択をしなくても良いかなと思います。
区域外から通学している場合の処遇と区域内であっても距離が遠い場合の処遇を同等にして欲しい。 募集人数が公表されるのはよいが、応募数が公表されると人気・不人気わかり、とても感じがわるい。
「選択制」はあっても良いとは思いますが、本当に本人の意思で行けているのでしょうか。公立で、そこまでの制度があるのも少し疑問です。
人気校に集中した場合結局抽選になるなら意味がない。

## 4 中学校教職員からの自由意見

### 【肯定的な意見】

保護者が教育や学校について深く考える機会となるのでとても良いことだと思う。しかし、学校側は生徒を獲得するために、間違っただけの努力をすべきでなく、これまで通り教育活動を評価される形にしていきたい。
子どもの課題に向き合うことができる保護者にとって、別の中学校に行けるという選択肢があることは素晴らしいこと。市内各中学校も「大規模・小規模」や「活発・落ち着いた」などの特色があり、部活動も同様である。その中で、子どもに合わせて選ぶことができることはよいこと。与えられた環境で頑張ることも大切ですが、概ねそれでよいのか。
将来的には見直すこともあり得るかもしれませんが、現時点では本制度を継続していただきたいと思えます。

### 【教職員の負担等に関する意見】

部活動で売るのはよいが、顧問負担が大きい。また、顧問のなり手が少ない。疲れを感じます。
学校選択制の制度そのものはあってもよいと思うが、小学生に向けた公開日が増え、中学校教員の仕事量の増加につながっていることを知っていただきたい。また、部活動を活性化させるために、若手教員をはじめとした教員の多くが部活動を持たされている現状を改善できるようにしていただきたい。
主なニーズは希望の部活動があるかどうかであるのだが、それに応じる人事ができていない。兄弟の在籍は考慮した方がよい。
選択できてよいが、●●中のように特別支援の生徒が多く入学してくる現状があるなら、その分、支援員の数を増員してほしい。学習面・生活面で教員の指導が大変です。教員の質が低下するのでは
学区外の生徒入学にあたり、小学校からの情報提供がないため、学級編制及びその他の学級経営で困った。
学校選択制で特色のある学校づくりを目指すのなら、各校の実状に合わせ、教育支援員の増員や、学習ボランティアの予算増など人的配置に、今以上に教育委員会として配慮していただきたい。そうでなければ、教員の質の向上にはつながりません。
少人数授業は学校規模に応じて実施しないと効果がない。人を増やさないと全教科が苦しくなり、学習の効果、向上が難しくなっている。学校選択につながる為にも、現場の現状に合わせた人員配置をお願いしたい。

### 【学校選択制の情報発信に関する意見】

学校を正しく理解していただくために、噂などで決めずには是非見学してから決めてほしい。
決定→入学までに面接（説）等するシステムがあれば入学後に「こんなはずじゃなかった」は、少し防げると思う。
小学校で人間関係が上手いかず、選択してくる生徒がいるが、母体小学校が少ない中学校の場合にはなじみない、なじみにくい側面があると思う。選択制の説明会でアナウンスがあれば、中学校を選択する時の決め手になると思う。
小学生へのアプローチは高学年と共に中学年あたりに向けてやっていくことも大切。高学年ではもうすでに私立に決めて、受験準備に入る時期で遅い。ただ、中学年へのアプローチだと入学までに時間が長く今の中学の現状と異なる可能性が大になる可能性もある。・・・どちらにしても難しい！

### 【学校間格差に関する意見】

学校選択制があるために学校間で生徒数に大きな開きができるようなことがあると良くないと思う。
前任校は学校選択制を実施していたが、結局人気のある学校に生徒数が偏り、多くなった学校は生徒の生活が悪くなった（生活指導をすることが多くなった）狭い学校に人数が多くなったせいもあるのでは、調布市のように大きな学校なら大丈夫かもしれないが。
8校に人数が公平化するように学区の検討を考えて実施してほしい。
特別な配慮が必要な生徒が集中して特定の学校を選ぶとその学校は負担となる。教育相談ですすめられたとして、毎年生徒が来るが、その分の人員増をお願いしたい。

地域によって気質・学力の差があるのはやむを得ない。しかし、それによって●●中学校は良い学校、▲▲中学校は悪い学校とレッテルをはられ、そこに勤務する教員までもレベル差があるかのようなアンケートを取られ、非常に不愉快な思いをしたことを今でも覚えている。選択制は必要ない。

よくも悪くも差が生まれているように思います。どの学校も魅力的になるように教委がバックアップしているのでしょうか。差をつけさせて魅力をアピールするのではなく、どの学校も魅力がある、その中で選べるようにできたらいいと思います。

●●中が部活に力を入れている学校と聞いています。地域でも●●中に行きたがっている家庭がいましたが、ダメだったと聞きました。他の学校も●●中くらい部活に熱心だとよいと思います。

### 【地域や学校との連携に関する意見】

現在、直結しているとは感じないが、生徒達は地域と密着していて欲しいと考える。

地元の生徒は地元の学校に行くのが地域の絆であると思う。

良い面・悪い面両方ある。地元を大切にすれば、なくてよい。

### 【その他の意見】

それぞれの学校に特色があり、それを踏まえて学校を選択できるのはよいけれど、小学校時代の問題児が進学するA校を避けて選ぶということによる学級数の変動が近隣の学校間で例年生じるのはいかがなものか。

ある指導に強みのある学校に似たような生徒が集まってしまう。それはメリットであり、デメリットにもなる。例えば、「○○部が強いから、学校を選択するとその学校ばかりが毎年強い」とか「特別支援が充実しているから、1つの学校に集中すると、指導として手に負えなくなる」とか。ただ、それらを全部ひっくるめてメリット・デメリットになるということ。

良い点・悪い点あり何とも言えない。

双子の生徒や家庭的配慮の為に「選択」は悪くないと思います。しかし、「選択」をすると「要求」が高くなり、「要求」が満たされないとすると攻撃的になる保護者がいるのは事実です。「わざわざ選んだのに」という意識を考えると、選択制は疑問です。

選ぶ立場からするとメリットがあるとは思いますが、選択制が必要かどうかはどちらとも言えない。

どんなサービスをしてくれるのか、という目で保護者が見てくるようになる。これは、良いことではないと思う。

## 5 小学校教職員からの自由意見

### 【肯定的な意見】

今後も継続して行ってほしい。
個に応じた教育を受ける事ができる。地元という地域の中で幅広い世代の人々から見守られ成長することができる等々一長一短はあるものの、ある程度の幅をもたせて、選択肢の中から進学先を選べた方がいいと考える。
行きたい学校に行けるということは、子どもにとっては、がんばろうとする意欲につながると思います。
昨年度、6年生を担当しました。学校選択制を利用してほかの中学校に進学する子もあり、進学先の幅が広がりました。その子にとって、最良の選択をするうえで、必要なことだと思います。
最近では部活に所属せず、クラブチームに参加する児童も多い。何かにたけている部活動がある中学校があれば、この選択制はよいと思う
私も自分が中学生の時に選択制になりました。部活で選ぶ子がほとんどでした。好きなことをするのが、思春期・成長期の子どもにとって一番だと思います。
ことがおきうることも想定して、実施されるとよいと思う。

### 【教職員の負担等に関する意見】

集中する学校が出た場合に教員数が増加すること、また、逆に少なくなった学校では教員数が減少することで学校体制としての仕事がまわっていくのか心配だ。
保護者や児童の目線であれば、良い制度だと思う。教員目線では様々な負担がでてきて大変
仕事が増えるだけ。
教員の負担が多いと思います。
人気のある学校における、教員の仕事の負担について、必要以上に負担が増えるということはないのでしょうか。
選択制にしても、ほとんどの児童が学区の中学に進学するが、逆に、手続き書類等、案内等の手間が増えていく。この手間（お金）が増えただけの効果はあるのか。また、選択する児童の多くは部活で選んでいるように思われる。教育内容そのものへの関心が高くなったかそうかは疑問である。

### 【学校選択制の情報発信に関する意見】

住んでいる地域によって、決まった学校ではなく、選べることはいいと思う。一方で学校ごとの特色が周知されていなかったら保護者は上っ面だけのうわさや評判で学校を選ぶ形になると思う。下手したらA校がいいからA校にではなく、B校が嫌だから…というマイナス的な見方をして学校を選びかねない。その結果、学校による格差による統廃合や負担がかわっていく気がする。大切なのは公立なのだからどの学校でも安心して教育が受けられるという事を情報提供することだと思うし、地域による教育格差が出ないように教育課程の共有や環境整備だと思います。
選択制が人気投票になっているような気もする。今までの実績だけでなく、正しく学校の方針や現状を理解して行えるようになるといいと思う。

### 【学校間格差に関する意見】

抽選が必要なほど、人数（人気）の片寄りが出る学校選択制が公立の学校に必要なのか疑問がある
人気等かたよりが出た際、職員や生徒のモチベーションが下がらないよう配慮が必要。どこの学校でも大きな差がなく教育が受けられるべき。
学校間の教育の質が向上し、競争になるので良いが、公開抽選はわかるが、人数のバランスが悪くなるのは問題になると思う。（人気校と不人気校）
やりたい部活がそこにしかない等の理由で選択することはあるかもしれませんが。また、発達に片寄りのある生徒が受け入れてもらえる学校の校風を選択する事もあっていいと思います。ただ、「荒れている」「学力が高い」等で選択するのはどうかと思う。
地域の学校という意識が持ちにくくなるのがマイナスだが、地域の学校に進みたくない児童にとっては必要であると思う。部活や学校施設などで選ぶ、あるいは学力で選ぶことが広がると好ましくない格差が広がると思う。
学校選択制にすることで、生徒数に大きな差が出た場合の対応策について、教室が足りなくなったりはしないのでしょうか。

<p>中学選択制が施行されたため、入学生徒が1学年わずか20人になってしまったという現実があります。(本来、学区在住生徒が入学したならば3クラス、少なくとも2クラス編成。)他校の方が、部活が強いからとか友達がいくからという理由で、地元中学に進学せず、極端に生徒が減少する事は、選択制のデメリットだといえます。本来の中学に進学した者はある意味、被害者です。</p> <p>学校行事にしても、部活にしても、人数や人材が揃わず、成り立ちにくい。スポーツでも、音楽でも、学力でも、切磋琢磨するライバルもいない。中学選択制を導入したことで、東京都でありながら、過疎地のような学級の状態を作ってしまうのです。小規模校ならではの、メリットがあるではないかと言われるかもしれませんが、不登校気味であったり、友達関係や、学力に問題があったり、特別な支援が必要な生徒が集まりがちになります。</p> <p>特色とはどういうことでしょうか。</p> <p>ナイター設備のあるところは、常に、熱心な指導者を配置し、吹奏楽の活発なところは高価な楽器がさらに増えていく。そんな、不公平な特色、いいのでしょうか。疑問です。</p> <p>行政は、中学校側に生徒を集める特色を作って努力するように要請するのではなく、最低限、3クラスは、様々な能力のある生徒が揃うよう、生徒を確保したうえで、一部のみ、中学選択生徒を受け入れる形をとれないものでしょうか。</p> <p>調布市の公立中学の偏りを解消するためにも、まずは、学区の見直しをしてほしいと思います。そもそもの人数の偏りをなくし、それに伴い、校舎も、最低限の設備も平等になるのが理想です。その上で、中学選択制にしてほしい。学校を変わらないといけないうちを得ない事情のある生徒のみの中学選択制でもいいのかもしれない。</p> <p>特色ある教育活動と謳っていますが、結果的に、スポーツも学力も生徒会も活発な中学と、支援や配慮が必要な生徒が多く集まる中学というように、偏った編成になってしまうのではないかと危惧します。マンモス校は増々活気を生み、様々な面で成績をあげ、小規模校は内向的な生徒が集まるという、偏りを助長することにならないように、願います。</p>
<p>現在は関心特にない。受入予定人数が決まっているのは良いと思う。市内の学校によって、生徒人数が少ない学校が出てくるのは学校運営で支障がでてくると思う。</p>
<p>子どもにあった学校を選択できるのは良いと思う。ただ、公教育なので教育水準に大きな差が出ないようにしたい。「内申点がとりやすい、とりにくい」が学校によって違うと困ると思います。生徒の評価の在り方は市区町村で共通理解を図ったほうが良いと思う</p>
<p>学校間で人数のばらつきがあまり出ないような工夫を続けながら今の制度をやっていって欲しい。</p>
<p>部活動の「ある・なし」で選択することのよさと強さのかたよりによる弊害。中学校が「荒れている・荒れていない」の情報による中学校への興味関心がわくよさと、片寄った見方による弊害。一長一短がある。</p>
<p>選択制で人数に偏りが出てしまうことで学習内容や行事等に影響が出ると思います。地域を大切にするという態度からは遠のくように思います。ただ、学校でトラブル・いじめなどにあい、別の学校に行きたいというときには救いになると思います。</p>

## 【地域や学校との連携に関する意見】

<p>選択できる機会はあった方が良いが、中学校としてはどうか知りたい。やはり、義務教育は地域地元で行った方が良いのではないかと個人的には考えている。</p>
<p>選択できる機会があることはとてもいいのだが、生徒と地域のつながりがやや弱くなってしまいうがする。</p>
<p>選択が必要な子もいると思うが、学区の学校に通う方がいいと思う。</p>
<p>中学までは地元で育てる地元で見守る気持ちが大切な気がする。地元意識は地域の学校でこそ生まれると考えるので…</p>
<p>地域での活動、地域との関わりも大事ななので、ある程度の枠組みの中で境目にある児童や特別に配慮が必要な児童が選択制を活用できるようにするとよい。</p>
<p>学校は保護者・職員・子どもそして地域によって支えられるものと考えます。選択制は、“地域の学校”としての意義を失わせるものではないでしょうか。部活や人間関係もあると思いますが、置かれた状況の中で精一杯の事をするといいのも、人間生きていく上で大切だと思います。</p>
<p>児童が部活動の有無などで学校を選ぶ機会ができれば良いと思うが自宅の近くの学校でない中学校に入学した時は通学上でやや心配なこと。地域の学校という見方が少なくなるということ等心配はある。</p>

## 【その他の意見】

<p>部活動や特色ある教育活動をもとに選べることはある部分では入学者の進路選択のために有効であるが、一方で小中連携、地域連携の観点では課題となる部分もあると感じている。</p>
<p>●●区は学校選択制にして、一部の学校に人数が偏り、結局廃校、統合におこまれる学校ができる状況を見た。そのようなことがないようにしてほしい。</p>
<p>低・中を担当しているとそれについて考える必要もなく何も知らない状態。</p>
<p>様々な問題があっても決められた中学校に進学し、どんな環境でも生きていける力を身に付けてほしい。</p>
<p>学校選択制を実施したことにより、児童・保護者の学校や教育に対する関心は高まったと思うが、理解が高まったかは分からない。</p>

<p>各学校の様子や教育課程を示して選択できる機会があるのは保護者にとってみれば良いのではないかと思います。ただ、特別支援通級の理由で希望する児童もその他の児童と同じ枠で抽選になるといふことがあると聞きました。せっかく通級につながった児童の継続支援になるよう改善が図られたらと思います。</p>
<p>完全な選択制にした方が生徒の意志を反映できるのでは？「定員に余裕があれば」は選択とは言えないと感じる。</p>
<p>学区制によりいろいろな子供が集まる事を社会の縮図として体験的に学ぶ場として公立中学校の存在価値があると思う。自立心の成長、個性、可能性の伸長は高校受験時に子供自らが考えて選択すれば良い。中学校での選択は親の選択となり、子供自身の選択ではないと思う。</p>
<p>わが子が学区の中学に通ったが、近くに友人がいるという事は集まりやすく、互いに会いやすく、卒業してもなお生涯の友人となりやすい。人気のある中学に数が集中することでマイナスの面が多いと思うから。</p>
<p>他地区は自校PRの為に会の練習時間に大幅な時間をとられています。どのような結論でもそのような競争にすべきではないと思います。</p>
<p>兄弟姉妹で同じ学校に行けるようにしたいが人数の問題もありやむをえない。</p>
<p>「この子は学校変えてあげた方がいい」「この子はどちらでも大丈夫」本当はこの視点があって始めて学校選択制の意味があると思います。なかなか個々に対応するのは難しいと思いますが、いじめや障害による特別な支援が必要な子供は、学校によって問題が多少なりとも軽くなるかもしれません。これからも現実を踏まえながら制度を進めていってくださるようお願いいたします。</p>
<p>どのくらいの子供が、学区外をえらんでいるのか実状を知りたいです。</p>
<p>不登校やひきこもりの居場所となる公立の学校を作ってほしい。今の時代、国、自治体、地域がもっとがんばらないと未来の子どもたちを育成できない。</p>
<p>友達関係でトラブルがあった児童が事情を何も考慮されず、抽選で落とされてしまうとかわいそうである。（やり直すことができなくなる）受入予定数を上回る場合は、各自の事情を考慮してあげることも検討した方が良くと思う</p>
<p>選択できる機会は必要ない。公教育は私学と違う。市教委はどの学校に通っても子どもが同じ教育を受ける環境を整えることが使命であると考え。学校間で競わせる時間を教材研究の時間にあて授業をよりよいものにするのが学力向上につながる近道だと考える</p>
<p>原則、中学校の学区をもとに通える学校に通えるようにしていくことが必要だと思う。できたら北部にもう一つ中学校があれば、生徒数クラス数が調整できるようになるかと思う</p>